

平成25年6月に刊行された男女共同参画白書によると、経済成長の担い手としての女性の可能性が注目されています。より多くの女性が新商品・新サービスの開発に参画することで、新しい市場の開拓が期待されることや、生産年齢人口の減少による影響を女性の就業拡大によって緩和することができるかとされています。

①女性の管理職率

日本の平成24年における全就業者に占める女性の割合は42.3%であり、海外の主要国と比べて大きな差は見られません。しかし、管理的職業における女性の割合は11.1%となっており、欧米諸国のほか、シンガポール、フィリピンといったアジア諸国と比べても低い水準にとどまっています。



出所：平成25年版男女共同参画白書



③男性の家事関連時間

白書では、平成13年から23年にかけて男性の家事関連時間は増加したものの、女性との差は依然として大きいことが指摘されています。性別に捉われず誰もが社会で力を発揮する機会を得るためには、男性が家事や育児に参加する事に対する社会的抵抗感をなくしていき、新たな視点から互いの活躍の場を広げていく必要があります。



出所：平成25年版男女共同参画白書

②なぜ昇進を望まない？ 男女の違い

女性管理職が少ない理由として、「女性が昇進を希望しない」と指摘されることがありますが、白書では昇進を望まない理由を男女別で調査した結果も紹介しています。それぞれで最も割合が高い理由は以下のとおりです。

《課長以上への昇進を望まない理由》

- ・女性：「仕事と家庭の両立が困難になる」
- ・男性：「メリットがないまたは低い」

このように、昇進を望まないという点では同じでも、女性は男性と比べて家庭の負担が原因になることが多いようです。

めぶき情報 109号

☆めぶき講座(第4回)

立秋もすぎ、暦の上では秋ですが、寝苦しい残暑はまだまだ続きそうです。連日の暑さで疲れがたまえないう、くれぐれもご用心ください。

今回のめぶき講座は「トートメー」を考える講座です。

少子化傾向のなか、トートメーの継承は必ず男子でなければならぬという考え方に縛られて悩んでいる方は多いのではないのでしょうか。

この講座では、なぜこのような考え方が出てきたのか、なぜ娘は継げないと言われているのか、「たたり思想」とは何かなど、トートメーの歴史を通して「誰でも継げる」ことを学んでいきます。

テーマ「今日のトートメー問題」 〜歴史に見る位牌(いはい)継承について〜

講師：宮城 晴美 氏(沖縄女性史家)
日時：8月26日(月)午後7時〜9時
場所：めぶき研修室2
対象：市内在住・在勤・在学の方
受講料：無料

☆受講ご希望の方は事前にお申込み下さい。
(一時保育をご希望の方は予約が必要です。
一週間前迄にご連絡下さい。)

問合せ 宜野湾市志真志一丁目15-1
人材育成交流センターめぶき
896-1215